

介護 みんなで支える介護保険 No158

問 保健福祉課 介護福祉係
☎476-1111(141)

◆認知症について正しい知識を持ちましょう part 11

10月号から引き続き、『認知症の行動・心理症状とその支援』について紹介します。

《認知症の行動・心理症状とその支援～その4～》

【行動障害への理解】

自分のことや周囲で起きていることが正しく把握できなくなると、行動がちぐはぐになり、日常生活にも支障が出てきます。今回は『徘徊』を例にして考えてみましょう。

Aさんの場合

図書館で数時間過ごすのが日課であり、ある冬の日、いつもより2時間遅く出かけたため、暗くなってしまった帰り道、道に迷い夜遅く疲れ果てた様子で自宅に戻ってきた。



これは、中核症状である見当識障害が原因であり、風景が見える昼間であれば大丈夫なので明るいうちに帰れるように工夫すれば大丈夫です。

Bさんの場合

日曜日の朝、いつも通っている囲碁教室に行こうと家を出たが、迷子になってしまい、昼過ぎにとぼとぼと家に戻った。



これも、Aさんと同じ見当識障害が原因ですが、Bさんの場合はAさんよりも少し症状が進んでおり、送り迎え等の支援が必要になるかもしれません。

Cさんの場合

夕方になると、遠くにある「田舎に帰る」と言ってたびたび家を出て行こうとする行動があり、その都度介護者が止めていたが、ある日、目を離した隙に出て行き、行方不明になり、翌日思いがけない場所で発見・保護された。



これは、脳の活性が徐々に下がってくる夕方に、場所や時間の見当識障害が深まることが原因と考えられるため、昼寝などをさせ夕方の意識をはっきりさせることが必要です。ひどい場合は専門医からの薬を使います。

D・Eさんの場合

Dさんは、妻と買い物中に行方不明になり、2日後に遠く離れた町で発見・保護された。
Eさんは、家の中でも外でも、じっとしていないで歩き続け、人やものを押しのけ、突き飛ばしてとにかく歩く。



Dさん、Eさんとも認知症が進行しており、常に誰かが見ていないといけません。介護者の支援が必要です。

◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業実績についての報告（利用者の1割または2割負担を除いた大崎町の支払い分）

第1号被保険者（65歳以上の人）		4,966人	平成27年11月末日 現在
要介護（支援）認定者		1,030人	
給 付 実 績	在宅介護サービス費	45,193,906円	平成27年10月の 給付実績
	施設介護サービス費	56,894,203円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	31,599,755円	
	介護サービス費 合計	133,687,864円	